

Back to list

1)

1-1/3

Next page

From 2

- 1

Count


Display format [P805] Bibliographic Data, Abstract

Display checked documents

Check All

Uncheck All

☐ ** Result [U] ** Format(P805) 2006.05.19 1/ 3

Application No./Date: 1981- 19069[1981/ 2/12]
Public Disclosure No./Date: 1982-132051  Translate [1982/ 8/17]
Registration No./Date: []
Examined Publication Date (present law): []
Examined Publication No./Date (old law): []
PCT Application No.:
PCT Publication No./Date: []
Preliminary Examination: ()
Priority Country/Date/No.: () [] ()
Domestic Priority: [] ()
Date of Request for Examination: [1985/ 1/16]
Accelerated Examination: ()
Kind of Application: (0000)
Critical Date of Publication: [1981/ 2/12]()
No. of Claims: (1)
Applicant: MATSUI YASUYUKI
Inventor: MATSUI YASUYUKI
IPC: F02F 7/00 F02D 15/04
FI: F02F 7/00 F F02D 15/04 D F02B 75/04
F-Term: 3G024AA02,AA21,AA44,AA46,AA47,AA60,DA25,FA00,3G092AA12,AA18,DD07,FA02,
FA16,FA24,GA05
Expanded Classification: 212
Fixed Keyword:
Citation: [19,1988. 7. 7,04] (04,JP,Granted Patent,0000183400)
[19,1988. 7. 7,04] (04,JP,Examined Utility Model Publication,1955011702)
Title of Invention: Variable compression ratio internal combustion engine

Abstract: [ABSTRACT]

If adjusting airplane to couple cylinder block region and crankcase regi
with a cylinder block part and a crankcase part is used, and a kin
zukereba compression ratio is high each other, and it is kept away
in a stroke direction of cylinder, a compression ratio goes low.

Check All

Uncheck All

Display checked documents

Display format [P805] Bibliographic Data, Abstract

1-1/3

Next page

From 2

- 1

Count

Back to list

1.)



実用新案登録願 昭和56年2月12日差出

昭和56年2月10日

特許庁長官

殿

1. 考案の名称 フリガナ カヘンマシフヒナイネンキカン
可変圧縮比内燃機関

2. 考案者

フリガナ 住所 (居所) 出願人に同レ

フリガナ 氏名

3. 実用新案登録出願人

郵便番号

5 2 2 - □ □

フリガナ 住所 (居所) シガケン ヒコネシモトマチ
滋賀県 彦根市元町1番65号

フリガナ 氏名 (法人にあつては名称) マツ イ ヤス ユキ
松 居 保 行



4. 添付書類の目録

- | | | |
|-----|------|----|
| (1) | 明細書 | 1通 |
| (2) | 図面 | 1通 |
| (3) | 願書副本 | 1通 |
| (4) | (| 通) |



方式
審査



132051

56 019069 635

明 細 書

1. 考案の名称

可変圧縮比内燃機関

2. 実用新案登録請求の範囲

ピストン式内燃機関において、その機関のシリンダーブロック部とクランクケース部とを、機関の運転中、変化する要求圧縮比に合わせて、シリンダーのストローク方向に、互いに近づけたり遠ざけたり 相対移動させることにより、常に理想的な圧縮比が得られることを特徴とする 可変圧縮比内燃機関。

3. 考案の詳細な説明

この考案はピストン式内燃機関の圧縮比に関する。従来、ピストン式内燃機関においては、運転中その機関の圧縮比を変えることは不可能であった。したがって圧縮比は、その機関の高負荷時あるいは吸気充填量の最も多い時に合わせて設定されていた。このため低負荷時 あるいは吸気充填

量の少ない時は、見かけの圧縮比に達せず、熱効率の低下をまねいた。またさらにターボチャージャーのような過給機付き機関では、一定に設定された圧縮比のために、最高過給圧が異状燃焼の問題等で大きく制限されていた。本考案は、上記の欠点を解決することを目的とする。

本考案を図面に基いて説明すると、機関の燃焼室等を構成するシリンダーブロック部(1, 1')とクランクシャフトを保持するクランクケース部(2, 2')とをシリンダーブロック部およびクランクケース部に連結する調整機(3, 3')を用いて、シリンダーのストローク方向に互いに近づければ圧縮比は高く、遠ざければ圧縮比は低くなり、機関を異状燃焼を生ずることなく高い効率で運転しようとするれば、変化する要求圧縮比に合わせて調整機(3, 3')を用い常に理想的な圧縮比を得ることができる。これにより常に高い効率で機関を運転することができる。その低燃費化を図る。さらに過給機付き機関では最高過給圧の増大が可能となり、その効率の上昇を図ることができる。ま

た 異状燃焼が防止されるため、いわゆるノッキングが生ぜず、あつかいやよい長寿命の機関になると考えられる。

4. 図面の簡単な説明

第1図は機関の両側に調整機を用いた一実施例の断面図。

第2図は機関の片側にちょうつがい式連結部、もう一方側に調整機を用いた一実施例の断面図。

1, 1' = シリンダーブロック部。

2, 2' = フランクケース部。

3, 3' = 調整機

4' = ちょうつがい式連結機。

5, 5' = ピストン。

6, 6' = フランクシャフト

7, 7' = オイルシール

実用新案登録出願人 松居保行

図 1

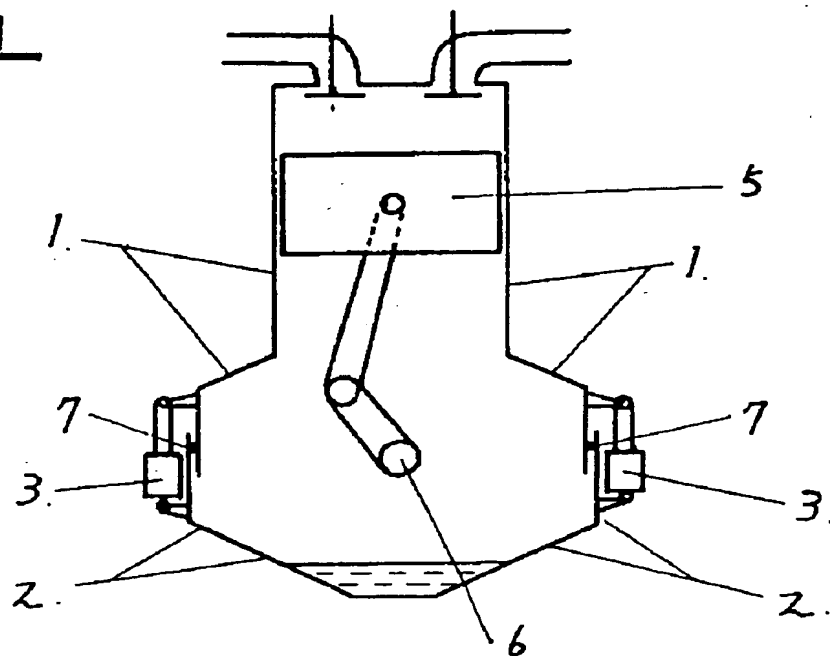
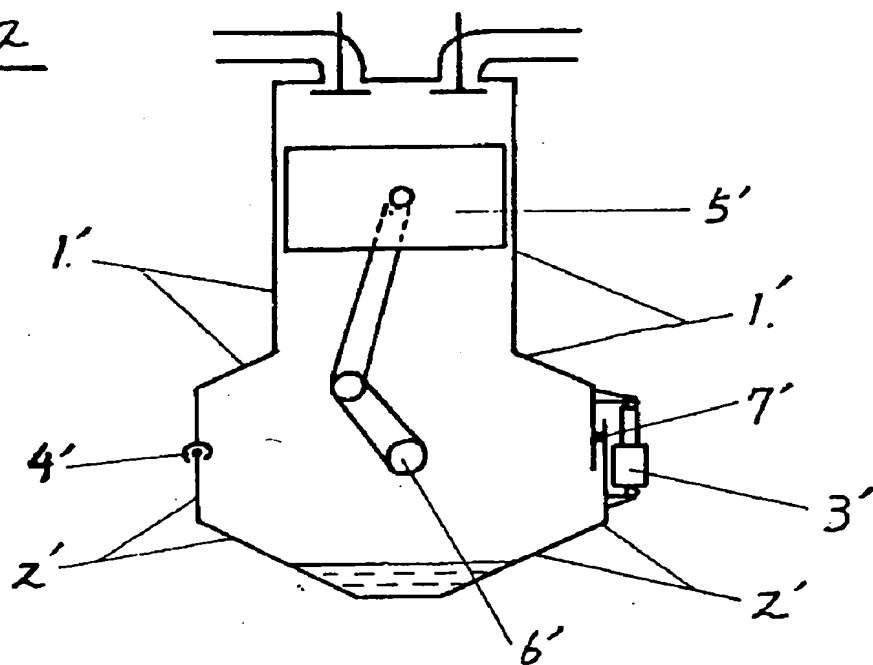


図 2



132051

実用新案登録出願人 松居保行

639